



Title	全結核患者へのDOTS導入の成果：塗抹陰性者等への導入の必要性和改善の検討
Author(s)	梶田, 真央; 森, めぐみ; 田淵, 紗也香 他
Citation	大阪公衆衛生. 2012, 83, p. 12-14
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/83363
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

研究報告

全結核患者への DOTS 導入の成果 塗抹陰性者等への導入の必要性と改善の検討

高槻市保健所 保健予防課 梶田真央、森めぐみ、田淵紗也香、原田優子、
小山慎吾、山下茂信、向井貴美子、中川直子、高野正子

【はじめに】

本市は平成 15 年に中核市に移行し、市保健所が結核対策事業を行うことになった。平成 14 年の人口 10 万対の結核罹患率は 28.6 であったが、その後 4 年間、罹患率の顕著な低下はみられず、26 から 28 の間を推移していた。平成 19 年に 28.5 と上昇したことを受け、平成 20 年度に罹患率低下に向けての一手段として全結核患者への DOTS を導入した。しかし、導入直後は支援が各担当保健師の判断に委ねられていたため、他の保健師の支援状況が見えないままに治療終了に至っていた。より確実な DOTS を行うために平成 22 年度から独自の工夫を重ね実施してきたので、21 年度版 DOTS と 22 年度版 DOTS を比較し、その取組を報告する。

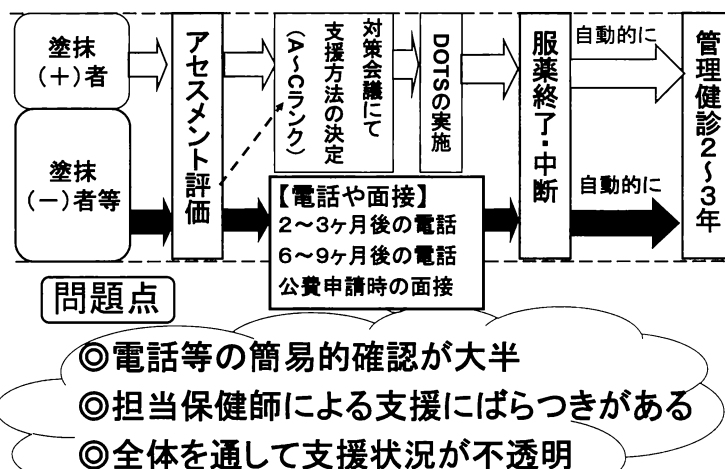
なお、罹患率は平成 20 年度より低下し、以後 3 年間は 20 ～ 22 で推移している。

【背景：21 年度版 DOTS】

全結核患者導入直後の塗抹陰性者等への DOTS 支援の流れは次のとおりである。(図1参照)

- (1) 初回面接時にアセスメント票にてリスク評価
- (2) ① 塗抹陰性・肺外結核・LTBI の支援ランク B 以上（アルコール依存、住所不定、再発等）のものは対策会議にて支援計画を検討し、実施
- (2) ② 上記以外の患者については「2～3ヶ月」、「6～9ヵ月後」に連絡や面接等で服薬状況の把握
- (3) 服薬終了後には自動的に管理健診に移行
上記の流れで実施していたが、塗抹陰性者等で B ランクに当たる者はいなかった（平成 20 年、21 年ともに B ランク以上なし）。21 年度版 DOTS の課題としては、① B ランク以上不在のため、実際の支援は「2～3ヵ月後」「6～9ヵ

(図1) 平成21年度のDOTS



月後」の2回実施のみとなっていたこと、②各自で支援を振返る機会や支援内容をチームで共有する機会はなく、服薬終了後も自動的に管理健診に移行していたことから、各保健師の支援にばらつきがあったことの2点が挙げられる。

【見直し：22年度版DOTS】

21年度版DOTSの課題を解決するため平成22年度からは以下のとおり取り組んだ。(図2参照)

- (1) A～Cランクに新たにDランク、Eランクを設定した。

Dランク(隔月)・Eランク(2～3ヶ月後、6～9ヵ月後)は塗抹陽性者以外のみに使用し、Dランクはリスクアセスメント1点～4点、Eランクは0点の者と定めた。

- (2) DOTSデーを新たに設けた。

月に1日DOTSデーを設定するとともに月ごとのDOTS担当者を決め、訪問の必要なケースは担当患者によらず、できるだけDOTSデーに月のDOTS担当者が市内を回り訪問することとした。

- (3) DOTS台帳管理を全員で行った。

22年度以前にもDOTSの実施予定や実施済みの記載をするDOTS台帳は存在したが、各保健師で担当患者のみを管理していたため、DOTS予定月を過ぎていても気づかずに

時期を逸するケースがあった。それを改善するため、月ごとに輪番でDOTS担当者を置き、該当月のDOTS予定者のリストアップをし、各担当保健師へ知らせた。

- (4) 治療終了後の対策会議にてDOTS評価及び管理健診の方針を決定した。

医師、保健師を含めた対策会議で全結核患者に対する支援の経過を振り返り、管理健診の計画を立てた。

【結果：22年度版DOTSを受けて】

当初は21年度版DOTSの課題解消のための取組であったが、その流れの中で以下の事が明らかになった。

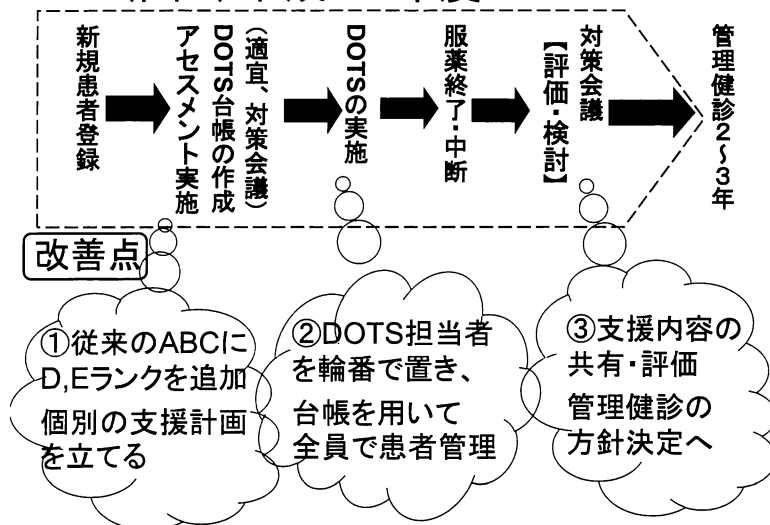
<感染性の程度に関係なく中断リスクは存在する>

塗抹陰性者等へのDOTSを実施していく中でアセスメント点数は低い支援の中で中断リスクが把握できたケースが存在することが明らかとなった。具体的には以下の2事例のようなものである。

事例1：肺外結核のケース(70代、女性、夫と二人暮らし)

リスクアセスメントは合併症1点(腎透析)のDランク。隔月の空袋・訪問によるDOTSと計画を立てた。初回面接の中では、普段から服

(図2) 平成22年度のDOTS



薬習慣のある患者であり、疾患の理解も良好と思われた。治療開始から2週経過時に初回訪問を行うための電話をした際、副作用が強く服薬が一時指示中断となったことを知った。中断2週間後に減感作療法にて治療再開のため、訪問し空袋確認をしたところ、空袋の数が合わなかった。本人は正確に飲んでおりつもりであったが、透析の関係上服薬のタイミングを失ったり、錠数を誤って飲んでいたりすることに気づいた。その後は2週間に1回の訪問をし、患者と一緒に分包し、習慣付けを行うことにより、訪問を月に1回から2ヶ月に1回と頻度を減らしてDOTSを行った。空袋も治療終了まで回収したが、習慣づけが出来てからは空袋の数は全て一致していた。

事例2：肺結核（塗抹陰性）のケース（60代、男性、妻と二人暮らし）

リスクアセスメントは合併症1点（抗がん剤使用）のDランク。疾患の理解もあり、妻の協力も得られると判断し、電話による隔月DOTSの計画を立てた。妻・本人への電話の際、当初聞いていた薬剤内容に変更があることに気づいた。主治医に変更理由の確認したところ自己調整していることが発覚した。その後本人に尋ねると抗がん剤による副作用が強く結核薬を自己調節していたと分かった。

上記2事例は平成21年度までであればDOTSの機会が「2～3ヵ月後」「6～9ヵ月後」の2回のタイミングのみの患者であり、不規則な服薬や中断を見逃したケースかと思われる。しかし、支援頻度を増やし、また関係者への聴取等を密に行うことにより中断リスクの発見が出来た。これらの事例から感染性の程度には関係なく中断リスクは存在し、かつリスクアセスメン

トの点数が低い方でも中断のリスクが高い可能性があるということが解った。

【評価：22年度版DOTSを導入した成果】

22年度版DOTSを進めていく中で、上記のような発見があっただけではなく、以下のような利点もあった。

- (1) 月ごとのDOTS担当を置くことにより、各保健師にDOTSへの意識付けができ、各担当が更に積極的にDOTSを実施できるようになった。
- (2) Dランクを設けることにより塗抹陰性者等への支援頻度が上がり患者の情報量が増え、早期に中断リスクを把握しやすくなった。
- (3) 積極的な支援アプローチにより患者との良好な信頼関係の形成につながった。

【考察】

- (1) 全結核患者のDOTSの必要性

平成23年5月の指針改正により全結核患者へのDOTS実施が示されたところである。我々の取組でも感染性の程度に関係なく中断リスクが存在することが明らかとなり、全結核患者へのDOTSの必要性が裏付けられた。

- (2) 期待できる利点

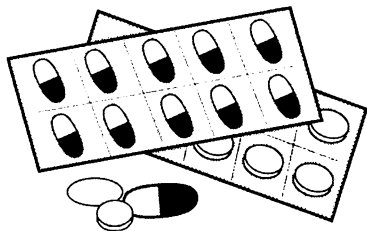
治療終了時DOTS評価に他の保健師の事例を共有し、それを蓄積することにより、中断リスクを察知する保健師のアセスメント能力の向上が期待できた。

- (3) 支援の中からの気づき

対面型DOTSでなくても中断リスクを把握できた事例から、初回面接や治療早期に細やかなかかわりを持ち、患者背景を把握し、適宜支援計画の再評価をしながら実施することが重要であると認識した。

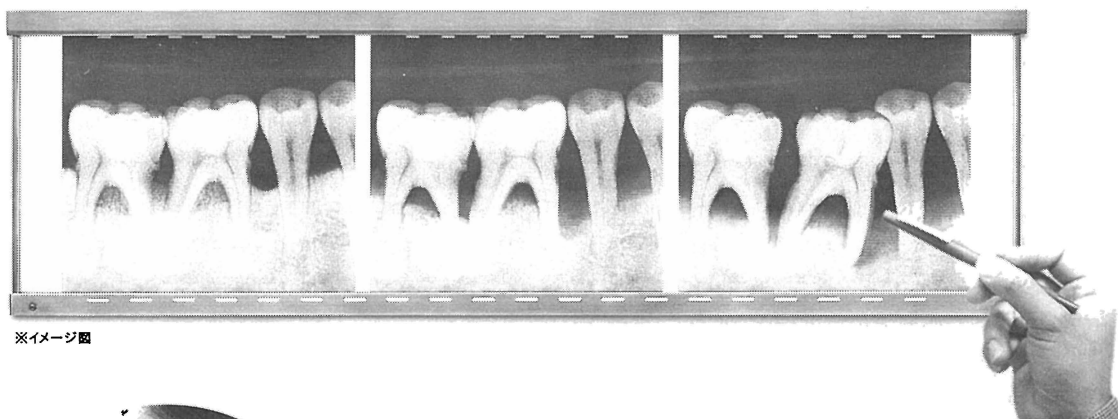
【今後の展望】

今後は、中断リスクの高い患者を確実に把握できるようアセスメント票の改訂や事例共有の継続、さらには運用の見直しを行いながら改善を重ね、より質の高いDOTSを実施し、更なる罹患率の低下を目指していく。



SUNSTAR

歯周病菌は、 歯を支える骨まで 溶かしてしまう。



※イメージ図

歯を失う原因の
第1位は歯周病
(歯肉炎・歯周炎)

出典：2005年 財団法人 8020推進財団



GUM 研究員

歯周病菌によるハグキの炎症は、進行すると歯槽骨(しそうこつ)まで溶かしてしまいます。たとえ健康な歯でも、支えを失った歯は抜けてしまう。そう、日本人の歯を失う原因の第一位は、ムシ歯でも老化でもなく、じつは歯周病なのです。だから、殺菌成分CPC※1 + 抗炎症成分GK2※2を配合のサンスターGUMで歯周病予防。一日でも早くはじめましょう。

歯周病予防
売上
No.1※3



殺菌力のサンスターGUMで歯周病予防。※4

歯周病菌とたたかう



www.teamgum.net

【医薬部外品】 効能・効果：歯周病(歯肉炎・歯周炎)の予防 ガムデンタルリンス：液体ハミガキ ※1 CPC：塩化セチルピリジニウム
※2 GK2：グリチルリチン酸2K ※3：歯磨き・液体ハミガキ/2010年1～12月インテージSRIブランド別金額シェア
※4：殺菌成分+抗炎症成分配合

サンスター株式会社 〒569-1195 大阪府高槻市朝日町3-1
商品のお問い合わせ：0120-008241